

のびのび 田底っ子

第 17 号

文責：校長 益永 一幸

「ほめる」と「ちゅういする」は同じ

7月の学校集会

みなさんは、先生から褒められたときどんな気持ちになりますか。「うれしい」「次もがんばろう」という気持ちになりますね。そうです。誰かに褒められるとうれしくなります。ちょっと誇らしい気持ちになります。

一方、先生から注意されることはどうでしょうか？注意されたときどんな気持ちになりますか。好きだという人はいないでしょう。できるだけ注意されたくないと思います。ですから、注意を受けた時は、黙ってしまったり、逃げたり、素直に話せなかったりします。これ以上注意されたくないという気持ちがそういう行動につながっているようです。

みんなにとって、「ほめられる」と「注意される」は全然違うでしょう。でも、先生たちにとってはこの2つは同じことなのです。この図を見てください。先生たちは、「こんな田底っ子に育てほしい」という願いを持っています。

「ほめる」ということは、みんなの言葉や行動が田底っ子に「ふさわしい」「すばらしい」と思っていることです。だから「すごいね。すばらしい。」などと褒めています。褒められたときは自信をもって頑張ってもらいたい。逆に先生が「注意する」時はみんなの言葉や行動が田底っ子にふさわしくない、このままではいけないよということです。**向かっている先は「こんな田底っ子に育てほしい」という願いです。だから「ほめられる」ことも「注意される」ことも一緒なのです。**

どちらも「こんな子どもになってほしい」「成長してほしい」と先生方が思っていることです。**田底っ子のみんなを愛しているから、「ほめたり注意したり」しているのです。**

ですから、もし注意されたときは、注意した人の「言葉」と「気持ち」をしっかり受け止めて、次からの行動にいかしてほしいと思います。

こんな田底っ子に
なってほしい

それでいいよ
じしんをもって

ちょっとちがうよ
すなおにうけてめて

『ほめる』

『ちゅういする』

7月の目標

【生活】くつのかかとをそろえよう

「脚下照顧（きゃっかしょうこ）」という道元和尚の教えがあります。「足下を照らし、顧みよ」ということだそうです。つまり、他に対して理屈を言う前に自分の足もとをよく見て、自己を反省しなさいという意味です。履物をそろえることで、自分の行いを考える心が生まれてきそうです。

はきものを そろえると 心もそろう

心がそろうと はきものもそろう

ぬぐときに そろえておくと

はくときに 心がみだれない

だれかが みだしておいたら

だまって そろえておきましょう

そうすれば きっと 世界中の 人の心も

そろうでしょう

長野県円福寺の住職 藤本幸邦さんの作品